

1月

みんなくウィークエンド・サロン

研究者と話そう

■ 14時30分から15時30分

■ 観覧料無料

※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。どんだん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

5日
(日曜日)

話者：加賀谷真梨（国立民族学博物館 機関研究員）
話題：女に寄り添う女たち——転回する「新しい社会運動」
会場：本館第3セミナー室

12日
(日曜日)

話者：森明子（国立民族学博物館 教授）
話題：産業化と手仕事
会場：本館展示場（ヨーロッパ展示）

19日
(日曜日)

話者：鈴木七美（国立民族学博物館 教授）
話題：21世紀社会のエイジ・フレンドリー・コミュニティ
会場：本館第3セミナー室

26日
(日曜日)

話者：藤本透子（国立民族学博物館 助教）
話題：ウマと暮らす——カザフスタンの草原の村から
会場：本館展示場（ナビひろば）

1年間みんなくは何度でも入館できる「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
 - ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
 - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

編集後記

この際、活字でカミングアウトしよう。私はヒノエウマ女である。

「ヒノエウマ生まれだから……」と幼少の頃から言われ、なぜ世間ではそれほど忌み嫌われるのか納得のいく合理的な説明がされないまま、得体の知れない負い目をどこかで感じてきた。仕事で地方に行った際に、「ここではね、結婚市場でランキング最下位ですよ」と言われたこともある。大きなお世話である。

今や希少動物であることを誇りに思うようになったので、知人の前では公言する。すると、「なるほど、がってん」というような反応を得ることが多い。「元気がよい」、「男勝り」というヒノエウマの特性には当てはまるのだろう。仕事上でも私生活においても、積極的であることは良い結果をもたらしてきたので、ヒノエウマの運命には感謝せねばならない。

しかし「男を食い殺す」などと言われては、心穏やかではない。迷信が迷信であるかぎり、私の性命に巻き込まれて家人に災いがもたらされるのでは、という不安が棘のように心に残る。元気のよい女性を抑圧するための社会的な言説だったという説明がつけば、だいぶすっきりするのだが。(山中由里子)

●表紙：銅像 標本番号 H0205121

地域：カメルーン 民族：バムン

次号の予告

特集

イメージの力

月刊みんなく 2014年1月号

第38巻第1号通巻第436号 2014年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 八杉桂穂
編集委員 山中由里子（編集長） 櫻永真佐夫 久保正敏
庄司博史 菅瀬晶子 丹羽典生 野林厚志

編集アドバイザー 山内直樹
デザイン 宮谷一欒
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 日本写真印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>

